

論文審査の要旨

報告番号	甲第 3186 号	氏名	的場 匡亮
論文審査担当者	主査 小川 良雄 副査 泉崎 雅彦 副査 松山 高明		
<p>(論文審査の要旨)</p> <p>病院は 1 週間のうち平日 5 日間を通常稼働日とする運用が長く定着している。週末の入院または手術においては転帰不良の傾向が観察されており、この現象は” Weekend Effect” と呼ばれている。</p> <p>本論文は土曜日、日曜日、祝日も待機的手術を実施する昭和大学江東豊洲病院において 2014 年 4 月から 2016 年 10 月までに実施された麻酔科管理の手術症例 7442 例を対象とし、平日と週末の 2 群に分けて緊急手術や待機的手術の術後 30 日死亡率について後方視的に解析した研究である。</p> <p>緊急手術では週末の手術患者のほうが有意に高齢であり、待機的手術では週末の手術患者のほうが有意に若く、手術時間、麻酔時間や在院日数は短く、ASA Class も低かった。傾向スコアを用いて年齢、性別、ASA class を調整した分析では、緊急手術においては週末の 30 日死亡率が有意に高く “Weekend Effect” を認めたが、待機的手術においては差がなかった。</p> <p>待機的手術の週 7 日実施という従来とは異なる運用を行う病院における週末の手術の特徴や、” Weekend Effect” の状況を報告した本論文は新知見を得ており、学術上の価値があり、学位論文に値すると判定した。</p> <p>論文題名 : Seven-day services in surgery and “weekend effect” at a Japanese teaching hospital: a retrospective cohort study (土日週日化実施病院における手術と Weekend Effect の検討)</p> <p>掲載雑誌名 : Patient Safety in Surgery, vol.14, No.24, 2020</p>			

(主査が記載、500 字以内)